

2025.1.15
地震調査委員会
東北大・他 資料
(作成者:岡田知己)

2024年能登半島地震震源域陸域の地震波速度構造

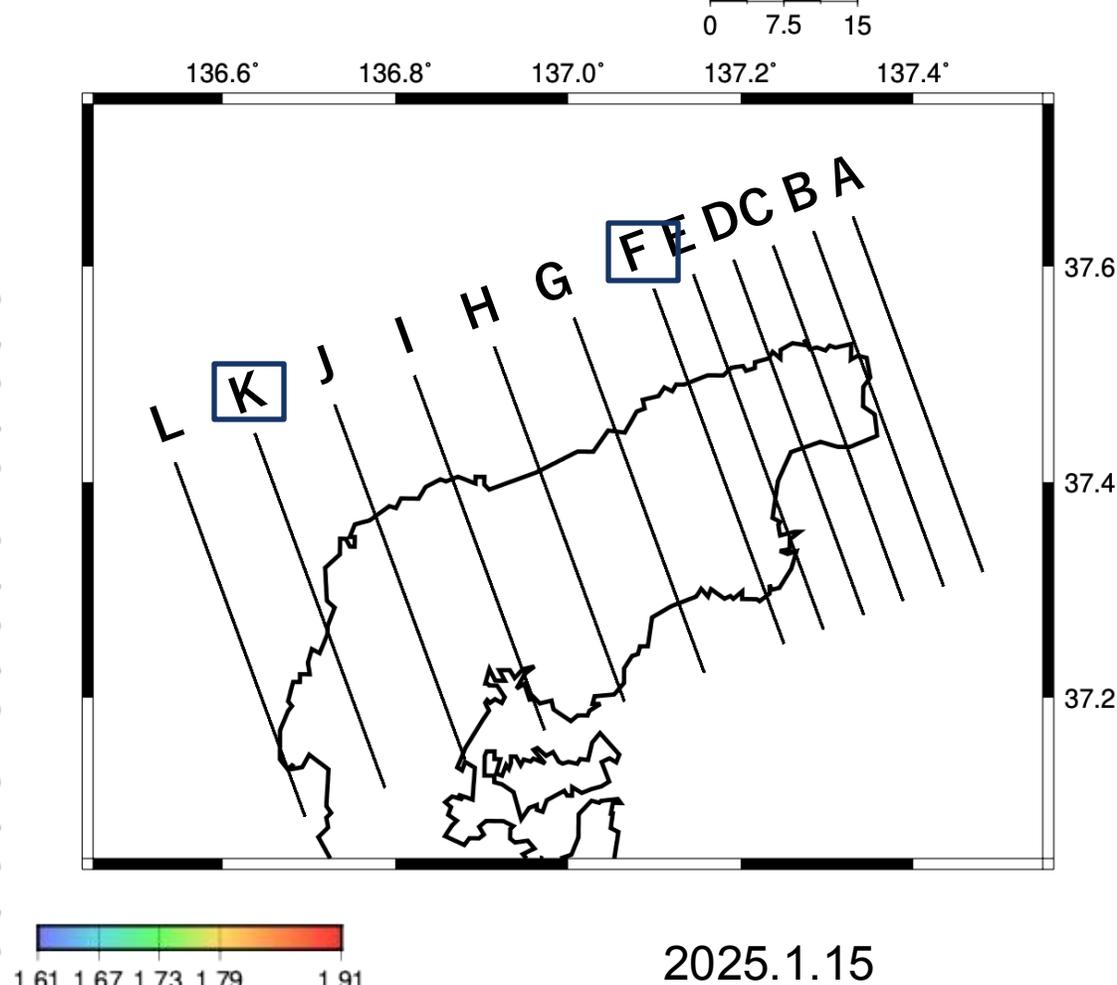
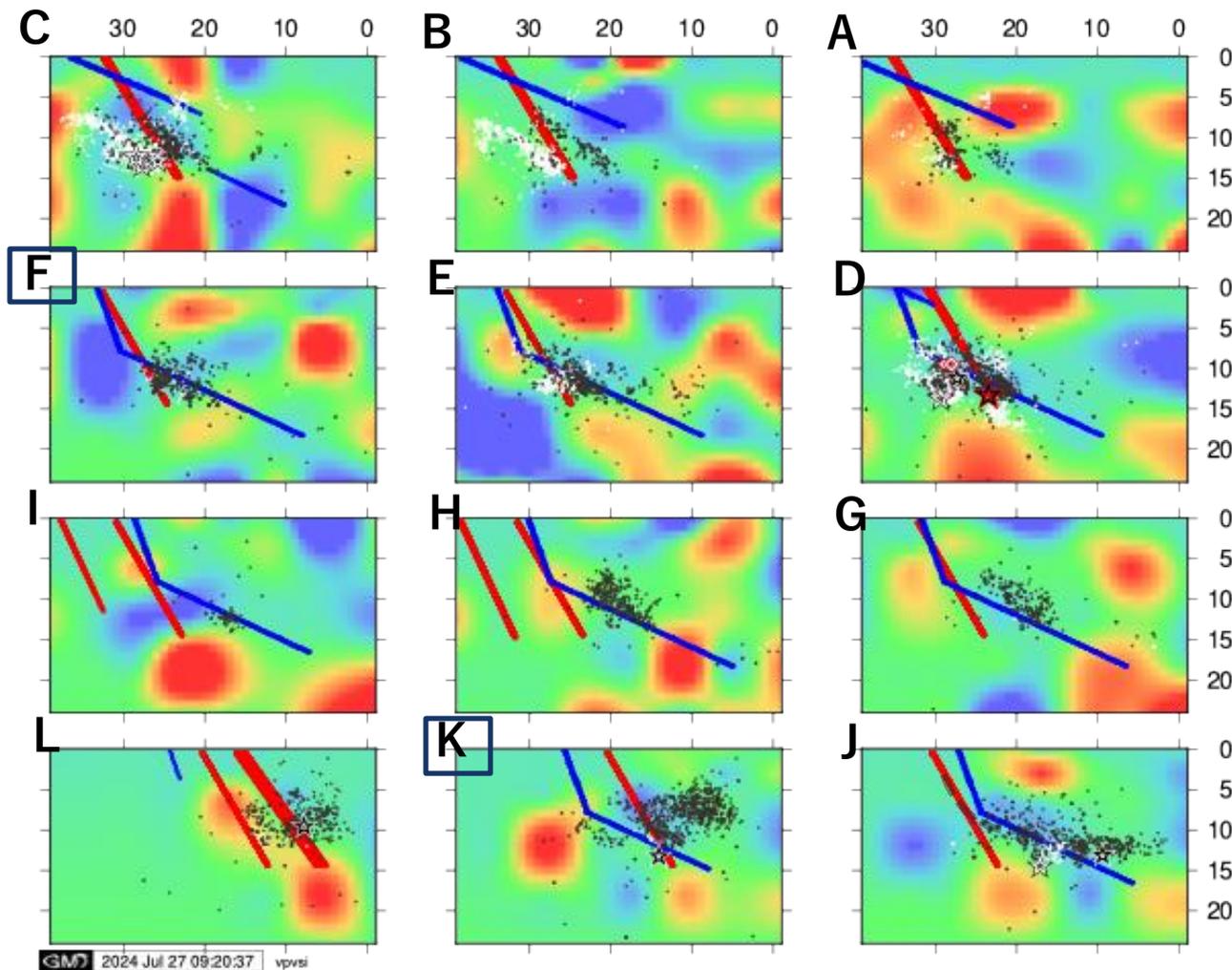
- 概要

- 震源域陸域の定常・臨時地震観測網を用いて、2024年能登半島地震震源域陸域の地震波速度構造を推定した（岡田・他、地震学会、2024）。
- 余震・震源断層の直下や深部延長に高Vp/Vs領域を確認した。この高Vp/Vs領域は高間隙圧を持つ流体の分布域であると考えられる。
- 余震・震源断層の上盤側が低速度であることを確認した。このような構造はこの地域において、かつて日本拡大時に形成された正断層構造が現在の圧縮応力場において逆断層として活動していることを示しているのかもしれない。

東北大・他:東北大・東大地震研・九州大・京大防災研・名古屋大・北大・弘前大・山形大・鹿児島大・産総研・金沢大

震源域を横切るVp/Vsの鉛直断面図

余震・震源断層の直下や深部延長に高Vp/Vs領域を確認

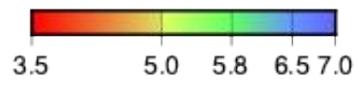
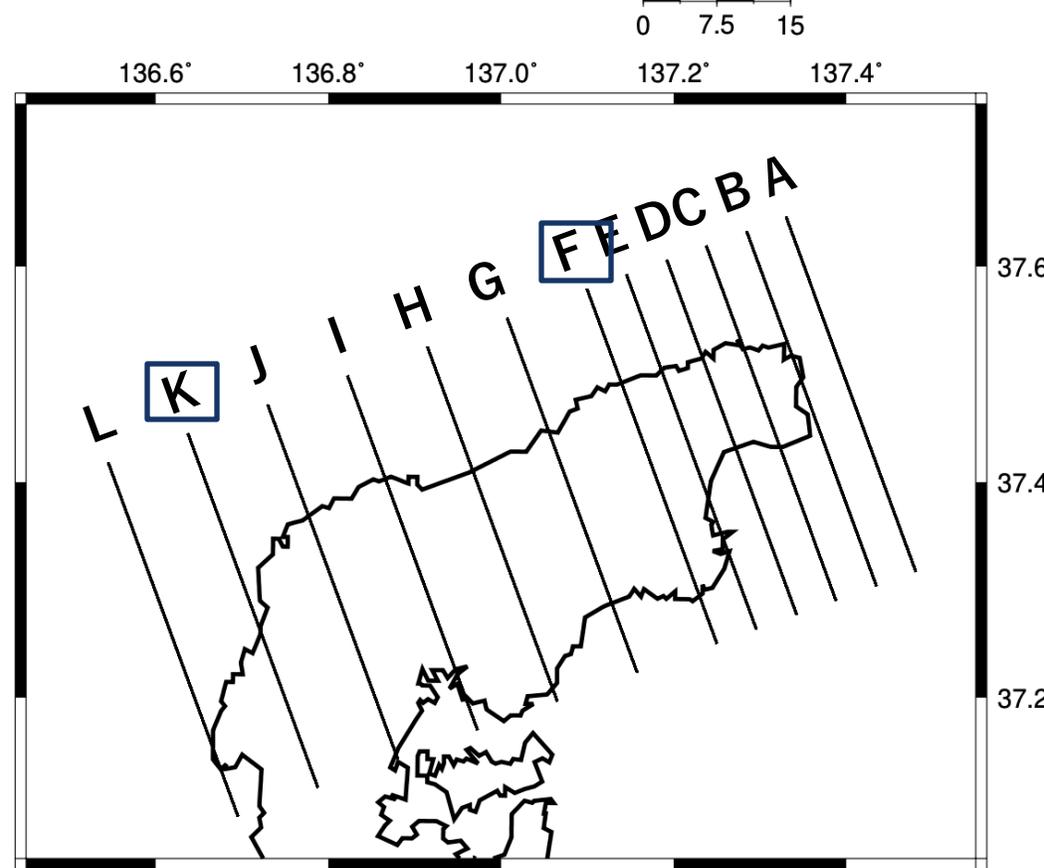
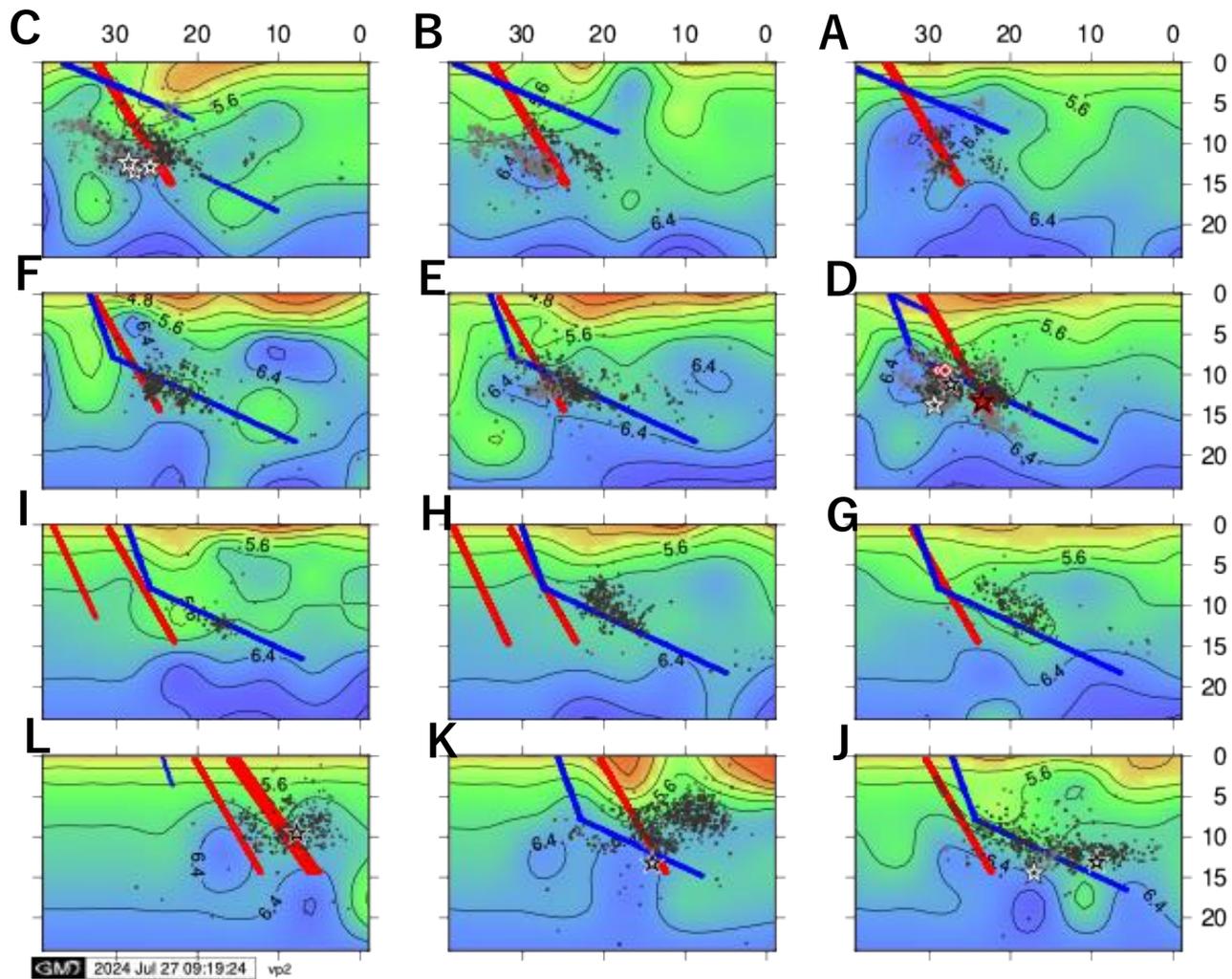


2025.1.15
 地震調査委員会
 東北大・他資料
 (作成者:岡田知己)
 (岡田・他、地震学会、2024)

白：-2023, 黒：2024-、白星 M>=5.4、赤星：M7.6、小・大の菱形：two foreshocks
 赤線：日本海プロジェクトによる断層モデル、青線：山田・他による断層モデル(GNSS-based model, 2024)

震源域を横切るVpの鉛直断面図

余震・震源断層の上盤側が低速度であることを確認



Vp (km/s)
 (岡田・他、地震学会、2024)

2025.1.15
 地震調査委員会
 東北大・他資料
 (作成者:岡田知己)

灰：-2023, 黒：2024-、白星 M \geq 5.4、赤星：M7.6、小・大の菱形：two foreshocks
 赤線：日本海プロジェクトによる断層モデル、青線：山田・他による断層モデル(GNSS-based model, 2024)